

No. 8
2025 SPRING

海
洋

クリエイター

観
光

そ
う
め
ん

小豆島の
高校生たちがつくる
小豆島のための
フリーペーパー

しまいろ
SHIMAIRO

海洋チーム



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

瀬戸内海には、たくさんの魅力が詰まっている。そんな海の魅力に沿った高校生が、瀬戸内海の魅力を次の世代につなぐため活動しました。

瀬戸内海って魅力的だ。



海は「楽しい」にあふれていた



B & G 池田海洋クラブさんにご協力いただき、シーカヤックにカッターボード等たくさんのアクティビティに参加させてもらいました。そこで気づけたのは、「海って楽しい!」ということ。そして、この海の楽しさを発信し続けてくれる人がいるということ。私たちも、この海の楽しさを次の世代へつないでいきたいと強く感じました。

でも、海には大きな課題があった… 海洋ゴミ

アクティビティに加えて、ゴミ拾いにも参加させていただきました。閉鎖海域である瀬戸内海の海洋ゴミは、私たち自身による排出がほとんどだそうです。そして、その量はなんと年間約4,500トン! 大型ゴミの処理には費用がかかるため、ゴミ拾い活動でも簡単に拾うことはできないことも知りました。このままでは、私たちの次の世代に、魅力的な瀬戸内海を引き継いでいくことはできない…そう感じたことがこの活動を始めたきっかけです。



海は「生命」にあふれていた

磯でのフィールドワークや池田漁業協同組合さんへの取材を通して、瀬戸内海にはたくさんの生物が暮らしていることも知りました。イソギンチャクや生きた貝に初めて触れて、海は私たちだけになく、たくさんの生物にとってもかけがえのないものだ」と再認識することができました。



ゴミアート × 水族館

うみごみ 海護美水族館 をつくりたい!

私たちは、瀬戸内海の生物多様性とゴミ問題の深刻さを訴える『海護美水族館』の開催を考案しています。

ゴミアートと水族館を掛けあわせ、瀬戸内海の“課題と希望”の発信を目指す施設です。小さな子どもがその水族館に足を運び、瀬戸内海の魅力、そして課題を知る。そこで瀬戸内海を守りたいという気持ちが芽生えてくれれば、瀬戸内海の魅力を未来へつないでいけるのではないかと考えています。水族館で得た収益は、大型の海洋ゴミの処理費用にしたいです。



ゴミアートをつかって
海ゴミ問題の
深刻さを伝えたい!



現在、試作の水槽を制作中!

しまいろ

活動の流れ

STEP 1



小豆島での課題とその解決方法の具体案を決める

観光産業のお店・施設にインタビューと特典交渉に行く



STEP 2

STEP 3



小豆島観光コースと観光マップの作成を行う

コースを大学生と体験する
大学生の意見を基に活動の見直し



今ココ

STEP 4

今後の目標・活動

この活動を通して、地域と密接に関わる中で住んでいる私たちも気づかなかった小豆島の魅力を再発見することができた。自分たちが感じたワクワク感を、マップを通して多くの人に伝えられたらと思う。

今後、マップの実用化に向けて本格的に取り組んでいくために利用者数が

比較的少ないバス路線を利用したコースを考えたり、観光施設や地域のお店を訪れる時間を忙しい時間帯からずらしたりと閑散期問題やオーバーツーリズム解消に繋げていきたい。私たち島民と観光客どちらも心地の良い小豆島になるように私たちの活動を生かしていきたい。

観光チーム



私たちが考えたコースを巡りました!!

活動目的

私たちの目的は、この街の魅力を小豆島の高校生ならではの視点から「観光」をテーマにし、いろんな発見や小豆島の良さをたくさんの人に伝え、訪れてもらえるきっかけを作ること。

「観光」の中で「閑散期」の解消を目標とした。

自分だけの
マイオリーブオイル
作り!!



醤油について
詳しくなりました💡



どのようにすれば小豆島の良さが伝わり、楽しませることができるのか考えられました。大学生と一緒に私たちも楽しみました。

2年 上川

大学生とまわって、美味しい料理を楽しみながらゆっくと雑談や店の雰囲気を楽しめました。いい思い出になりました。

2年 倉橋

そ う め ん

チーレ



STEP
01

ギネスへの挑戦

小豆島のそうめんを知ってもらうために
ギネス記録へ挑戦をする。
様々な課題がある中、この計画は進ん
でいく。



竹を運ぶのも意外と大変
うまく流し台が立たないなあ



針金で固定すれば
安定することを発見
制作に光明が！

STEP
02

小さなはじめの一歩

まず初めに短い距離での試作を作ってみた。
みんなで協力して山から竹を切ってきて組み
立てていき、土台を作る工程で少しつまづい
たものの、各々が意見を出し合うことで解決
することができた！



4mの流しそうめん台完成！
目指せ4km！



STEP

03

目標の再設定

役場の人からの話を聞いて立ちはだかる大きな壁。

僕たちは新たな目標を掲げる。「来年度の瀬戸芸で流しそうめんを行う」これを目標にしていくこととなる。

長い流しそうめんをするためには数キロにわたって公道を利用する必要がある…ギネスに認定してもらうためには多様な基準をクリアする必要がある…など超えるべき壁があまりにも多かった。



STEP

04

三木町への訪問

そうめんをギネスを取ることを現実的にするために、三木町の真砂さんに流しそうめんの具体的な作り方や、ギネスの申請に関するアドバイスや、流しそうめんが三木町を活性化させたことなどの体験談をもらう。

POINT

「三木町の真砂さん」

小豆島出身の真砂さんは、そうめん屋の2代目としてはたらき、今は三木町で流しそうめん屋さんを営んでいる。そして、その三木町で流しそうめんのギネス世界記録に挑戦しており、今回お話を聞くことができた。

そうめんの魅力が島中に広がりますように…



感想

この企画のメンバーは23人。皆が活力に満ち溢れており、行動力のある人達です。

流しそうめんという楽しさと共に美味しく食事ができるこの活動で、島の魅力を伝えるために頑張っていきます。





B&G主催 海ごみゼロフェスティバル参加



みんなでカヌーが
楽しいなー!



活動内容

- ・海洋ゴミの問題を発信するための水族館を模索
- ・行政機関に水族館事業の提案をした



うみごみ 海護美水族館について

海護美水族館は、島高の海洋チームが考案した小豆島内の海ごみを集めてアートにし、水族館を作ろうという取り組み。



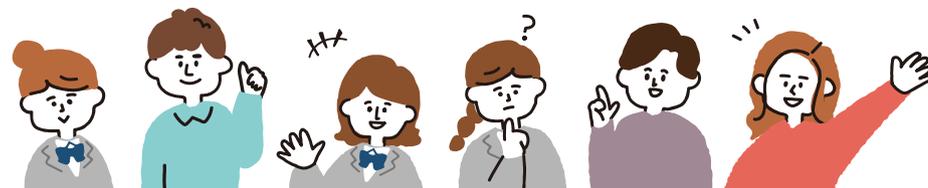
Webで
発信?



MAP MAKING



観光チームは生徒の自主性を尊重し島の各所に行ってインタビューなどをして地域交流を図り、生徒目線の島の魅力を新しい形で発信することができました。



WELCOME TO CREATOR TEAM

No.1

Instagram

2024年verは一からInstagramを開設し（クリエイター、海洋、そうめん、観光）の4つのチームの活動を発信しました。昨年と違う所はしまみらの活動以外にも小豆島の魅力の発信やSNSが普及している今観光客の目に止まるような可愛くおしゃれに投稿することを心掛けて活動していきました。



Instagram



YouTube



No.2

High School

クリエイターチームでは、小豆島中央高校の魅力を発信する活動を行いました。その中でも、部活動の様子や授業の様子、校舎から見える景色など、ステキな写真をたくさん撮りました。

Club Team & PR Movie

部活動
写真



A lively club activity!



SOMEN

03
そうめん
チーム

6月

流しそうめん!

チーム 結成!

目標 **ギネス世界記録に挑戦** (4km)

当初
たった2人!



ギネス
目指すぞー!



7・8月

学校の裏の竹で試作(4m)

まさご屋さんへ取材

ギネスは難しい...?



ここから1

瀬戸芸とコラボ /

「All 小豆島 流しそうめん」

ねぎ、しょうが、だし
All小豆島産で街おこし!



ここから2

長勝寺



流しそうめんイベントに協力!



子どもたちと流しそうめん。

To Be Continued...

実践例

02

9月12日

「東大生と語ろう」

5人の東大生が来校し、高校生の質問に丁寧かつ時折笑いを交えながら具体的に質問に答えてくれました。どんな質問にも「なんとなく」や「とりあえず頑張る」など曖昧な表現ではなく具体的に論理立てて答えてくれていた様子が印象的でした。

特に印象に残っているのは将来の進路についての質問に対し、「大学4年間は自分を磨く時間。しっかり自分を磨いておけば、官僚や民間、司法試験、どの道に進みたいと思っても役に立つ。」と答えたことです。参加した生徒はみな、こうした具体的な回答をもらえ、残りの高校生活の送り方を考える、有意義な時間になったようです。



実践例

03

9月20日

「看護について」



2名の現役看護師をお招きし、看護についての説明をしていただきました。看護師の業務内容や勤務形態、大変なことややりがいなど詳しい話を聞くことができ、参加した生徒たちは有意義な時間を過ごせたようです。ゼミ終盤、生徒からの質問に対し、「今は高校の勉強を頑張って、看護師以外に自分の興味のあるものがないか探しておくといい。そして、例えばそれが英語なら英語を用いる看護の仕事に就くなど、興味のあるものと看護を結び付けていけば良い。」など、生徒にはなかった視点の熱い回答が寄せられ、参加した生徒が大きな刺激を受けたことは間違いなさそうです。

日付	活動名	参加者
10月21日	「小豆島のおじいちゃん、おばあちゃんの秘密」 主催：小豆島町役場高齢者福祉課	6名
11月5・6・8日	「ふるさと村ミライサロン」 主催：小豆島町役場商工観光課	12名
11月11日	「高校生のための教職説明会～せとうち先生になろう～」 主催：香川県教育委員会事務局職員	8名
11月15日	「韓国の高校生との交流をしよう②」 講師：本校教員	10名
11月25日	「EXPO スクールキャラバン～水産資源の現状を知り、未来の回転寿司をデザインしよう」 講師：株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES	41名
12月9日	「この島に住みたい！ 人気の移住先の理由と魅力を知ろう！」 主催：しまのみらいプロジェクト	9名
12月18日	「韓国の高校生とのオンライン交流」 講師：本校教員	10名
1月17日	「自分の武器になる『動画制作の企画から編集まで』」 主催：しまのみらいプロジェクト	50名

わたしの みらいゼミ

Future Seminar
とは？

Answer!

各界のプロや地域の方、学生などの話を聞いたり、一緒に体験したりすることによって、自らの視野を広げたり適性を発見したりするヒントとし、今後の生き方や進路実現のためのきっかけのひとつとする講座のこと。

講義形式や対談形式、ワークショップなど形態は様々で、生徒の主体性や能力を高めることをねらいとしています。主に放課後に開催中。

実践例

01

6月10日

「やわらかい専門職」



「自動車」「デザイナー」「ゲーム」「語学」「動物」「ブライダル」の計6分野にそれぞれ講師の先生方をお招きして、各業界についての説明をしていただきました。

聞いたことがあるような仕事・業界であっても、仕事形態や必要な資格・能力など、知らないことが多くありますが、実際にその道で活躍されたり、多くの学生を送り出したりしている講師の先生方から「生」の話を聞くことができ、参加した生徒の視野が大きく広がったようです。

今年度のスケジュール

日付	活動名	参加者
5月24日	「これからの働き方セミナー『君たちはどう働くか』」 主催：しまのみらいプロジェクト	10名
6月10日	「やわらかい専門職」 主催：学校法人穴吹学園	14名
7月12日	「かたい専門職」 主催：学校法人穴吹学園	13名
8月10日	「乙武洋匡の情熱教室」 主催：香川県中小企業家同友会小豆島支部	9名
9月12日	「東京大学フィールドスタディ①」 主催：土庄町役場商工観光課	30名
9月12日	「東大生と語ろう」 講師：東京大学生4名	18名
9月13日	「東京大学フィールドスタディ②」 主催：土庄町役場商工観光課	30名
9月20日	「看護について」 主催：小豆島中央病院看護部副師長会	13名
10月18日	「韓国の高校生との交流をしよう①」 講師：本校教員	10名

今年は私たちの独断で贈る小豆島の推しポイント。
小豆島にはいろんな穴場がたくさんあるけど、
今回はその一部をご紹介します。

さて、あなたはどれだけ知ってる？
実際に行って小豆島の魅力を感じてみてください。



さらに
知りたい方は
こちらへ



からかい上手の
高木さん

聖地巡礼

西光寺

西光寺は尾崎放哉ゆかりの地でもあります。真っ暗な中、壁に手をつけて手探りで進んでいくと閻魔様や弘法大師様に会えます。弘法大師様が1200年前に御開創された霊堂があります。



他にも...

四方指大観峰、
西村高木明神
などもあります。



上のQRコードから ▲

詳しいアクセス情報は
右上のQRコード
から ▲

安田地区



田ノ浦地区

商店・ラーメン

おかだや商店

- ・120年続く老舗
- ・営業時間は8:00～20:00 (定休日は毎月第3日曜)
- ・僕の一押しは鯛！
近くの港や高松などから仕入れられる魚がとにかく新鮮！



ラーメン 桃福

- ・背脂のきいたとんこつラーメン
サイズは並、大、特大の3つ
- ・20年前に創業
- ・営業時間は11:30～14:00
(定休日は毎週水曜)
- ・僕の一押しはラーメンセット大！



おいしいよ

3

教育の原点

映画村や分教場では、小説や映画の影響から今も全国から教員の来館が後を絶たないと事です。実際に分教場を訪れてみると「教師から教師を目指す人たちへ宛てたメッセージ」が書かれたボードがありました。僕は現在、塾でアルバイトをして子どもたちに勉強を教えています。たまに先生として「これで良いのだろうか?」「もっと分かりやすく伝えられないのか」と悩むことがあります。読んだ人、観た人に何かしら考える火種を与えてくれる良い作品だと思います。



定時制
プレゼント

\\ ちょっとみてみい~ // 私たちの推しポイント

漁師さんたち

四海漁協・

思ってたのと違う!

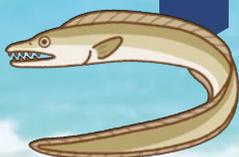
小豆島では漁師さんも多く、たくさんの種類の漁獲物が取れると思いきや…実際は後継者不足など様々な問題がありました。

ハモのブランド化

小豆島でとれたハモを「島鱧」とブランド化し、ブランド品としての厳しい基準を設けブランド管理・保持を図っています。

我々にできること

実際に、できることは少ないですが、漁協組合の活動を知ることがとても大切だと思いました。



224ワイナリーでは、島シャンや、ジェイドペティヤン（微発泡白ワイン）、プティバルド（赤ワイン）などを製造しているそうですが、おすすめは島シャンだそうです。7月に訪問した時には完売していましたが、からかい上手の高木さんともコラボしているそうですよ。



場所は、小豆島の西の端、戸形地区の旧戸形小学校から坂を上った丘の上。南正面には屋島、五剣山、サンポートが見える。

小江地区

肥土山地区

土庄本町

戸形地区

社長さんは、声が大きく、威勢がよくてガハハとよく笑います。2月2日生まれの志賀さんということで、“224ワイナリー”と名づけたそうです。お母さんが小豆島（大部）出身という縁もあって、小豆島の自然を生かしたワインをつくらしてみたいと考えたそうです。



224ワイナリー



1

教育について

私は『二十四の瞳』の映画を観て、当時の小学校の教育について関心を持ちました。明治時代から学校では、書道、体操、算数、国語（復読、読書、作文、書取）などの授業があり、平日は午前9時から午後3時ごろまで、土曜日は半日の授業があったそうです。

2

『二十四の瞳』と戦争

小説が出版されたのは終戦から7年経ってからだったということから、壺井栄はこの小説で、教育だけでなく、一般庶民から見た戦争についても書きたかったのではないかと思います。戦争中の小豆島に生きた人たちが、どのような生活をしてたのかが知れたことも学びになりました。

『二十四の瞳』



しまいろ

活動を終えて

後書 + 色

あとがきいろいろ



海洋チーム 1年 曾根 日和	ゴミ拾いのボランティアをして、小豆島の海をよりきれいにしようと頑張りました。
海洋チーム 1年 奥保 朱理	カヤックなどの様々な体験を通して今の小豆島の問題について知ることができて良かったです。
海洋チーム 1年 中條 鉄馬	自分はあまり参加出来ていないけど写真などを見て海にはたくさんのゴミがあることがわかりました。
観光チーム 2年 倉橋 摩衣	この活動を通して、地域のお店の人や沢山の人と関わり小豆島の今の現状を知ること、これからも自分にできることを考えていくことの大切さを学ぶことができました。
観光チーム 2年 市村 志織	今回の活動で学んだインタビューやアポ取り、マップ作りの方法を今後活かしていきたいと思いました。
観光チーム 2年 島本 羽未	ここでないと経験出来ないことが沢山あって、貴重な時間を過ごせました。
観光チーム 2年 上川 礼華	この活動を通して改めて島の良さに気づき、新しい視点を持つことが出来ました。
観光チーム 2年 川崎 璃子	地域の企業やお店に協力していただき小豆島の魅力の再発見になった。多くの人とわくわくを共有して少しずつ形に近づいていってすごく楽しかったです。
観光チーム 2年 港 帆香	この活動を通して、違うクラス・学年の子達や地域の人と関わって、良かったです。
観光チーム 2年 黒崎 和奏	多くの方の協力もあり島の未来を考え、今できることを行動に移せ素敵な経験になった。
観光チーム 1年 松田 滯	アポ取りやインタビューなど様々な体験をして、良い経験を積むことが出来ました。
観光チーム 1年 武部 もえ	活動を通して、自分自身も知らなかった小豆島の良さに出会うことができました。
観光チーム 1年 佐々木 和鼓	この活動を通して、多くの人と協力して島の魅力を知ることができ、とてもいい経験ができました。
観光チーム 1年 セネカル フルール花	違う学年、クラスで活動する事が不安でしたが、雰囲気は暖かく良い経験になりました。
観光チーム 1年 出浦 幸歩	小豆島の魅力に気づける機会を自ら選んでよかったなと思いました。
観光チーム 1年 北方 杏珠	島の課題を解決するために自分たちで行動することができ、いい経験になりました。
観光チーム 1年 立住 彩	島に住んでいるからこそ気づくことができなかった魅力を知るきっかけになりました。
観光チーム 1年 岡田 侑子	アポ取りや取材など初めての経験ばかりでしたが、先輩達や先生がいろいろ教えてくれたり、自分たちで考えて行動したりして経験を積むことができました。
観光チーム 1年 山本 沙紀	小豆島の魅力や気付かなかったことも知ることができて、とても良い活動でした。

海洋チーム 2年 平田 ひな	活動を通して海の豊かさやゴミ問題などを深く知る事ができました。
海洋チーム 2年 山本 奈々	様々な活動を楽しみながらも海の現状を知りみんなで守っていけるように話し合えました。
海洋チーム 2年 田口 未空	海で遊ぶだけではなく、ゴミ問題について自分と身近な内容として考えられました。
海洋チーム 2年 中島 寧音	みんなでカヤックに乗ったり、海の生き物を観察したりできてとても楽しかったです。
海洋チーム 2年 芝寄 瑛菜	カヤックやカッターボートなどの体験や実際に海洋生物の観察をしたことで海の多様性についてよく知ることができた。
海洋チーム 1年 永岡 未羽	あまり参加できなかったけど、海洋生物や海ごみの現状について知ることができた。
海洋チーム 1年 三枝 明莉	実際にカヤックに乗ったりして小豆島の海について知ることが出来ました。
海洋チーム 1年 西口 桃華	あまり活動に参加できなかったけど活動を通して多くのことを知ることが出来ました。
海洋チーム 1年 天満 更紗	自分はあまり参加できていないけれどみんなと海の現状について知りこれからどうするか考えることができました。
海洋チーム 1年 川中 実乃梨	あまり参加できなかったけど、海の現状や問題について考えることができました。
海洋チーム 1年 木下 彩花	実際に海に行って多様な生き物やゴミに触れることができた。
海洋チーム 1年 田川 七衣	小豆島の学生として海の生物や環境などの現状を楽しみながら学ぶことが出来ました。
海洋チーム 1年 大澤 叶愛	海で活動をしたり小豆島の現状とこれらについて考えることができ、楽しかったです。
海洋チーム 1年 富山 優衣	カヤックなどを通して海の現状について知ることができ、考えることができました。
海洋チーム 1年 平岡 蓮花	実際に海に行って、カヤックに乗ったり、海の生物を観察することで多くの事を知りこれらについて考えることができました。

クリエイターチーム 1年 岡本 幸艶	あまりたくさん活動には参加できなかったけれど、楽しく活動できました。
クリエイターチーム 1年 岡田 悠利	活動を通して様々な人と関わりを持つことができ、これからもこのような活動をしたと思いました。
クリエイターチーム 1年 平林 楓	島高の部活動や授業の様子などをSNSに発信できた。自分も島高の新しい魅力を見つけた。
クリエイターチーム 1年 坂本 咲羽	学校紹介で使用する動画を撮りに行きそれぞれの部活の良さを紹介することができました。
クリエイターチーム 1年 毛利 友結	あまり活動に参加できなかったけど島高の魅力発信のため楽しんで活動できてよかったです。
クリエイターチーム 1年 池本 朱里	少ししか活動ができなかったが、みんなと楽しくできてよかったです。
クリエイターチーム 1年 港 三冬	しまみらを通して島の新しい魅力に気づき自分が得意なことを生かして島の魅力を伝えていけるように頑張りました。
ファイナリーチーム 4年 佐伯 真奈	ワインへのこだわりがすごくて、ワインのことを本当に思っている人だと感動しました。
四海漁協組合チーム 4年 岡本 史也	小豆島の漁協について調べましたが、イメージとは違った一面を知ることができました。
高木さんチーム 4年 中野 愛希	西光寺の本堂の地下には閻魔様や弘法大師様がいることがこの学びを通して分かりました。
商店・ラーメンチーム 3年 山口 祐	小豆島の商店とラーメン屋の取材をして、やはりお店の方々の人柄の良さに心惹かれました。
二十四の瞳チーム 1年 山本 英汰	実際に田ノ浦に行ったり、映画を見たりして、教育や戦争について考えるいい機会になりました。

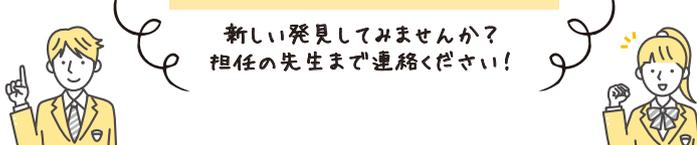
香川県立小豆島中央高等学校		
校長 高橋 一生	教員 石田 公平	教員 中野 慎也
教員 黒田 裕司	教員 岡橋 優希	教員 福田 朋美
教員 池本 健志朗	教員 佐伯 健太	
教員 石川 淳三	教員 中石 友華	

しまのみらいプロジェクト スタッフ	
会長 城石 果純 [(株)DaRETO]	南川 慶子 [neutral café FINE]
副会長 大塚 一步 [NPO法人トティエ]	下田 愛 [(株)パオ・フィール]
川西 剛 [社会福祉法人サンシャイン会]	島 啓 [マルシマ印刷(株)]

観光チーム 1年 森本 紗帆	この活動に参加していなかったら気付かなかった小豆島の魅力に気付けたし、なかなか出来ない経験が出来ました。
観光チーム 1年 南川 由依	しまみらを通して小豆島の人々や大学生と関わりながら問題解決に向けて活動できました。
観光チーム 1年 真砂 由奈	この活動の中でたくさんの発見があり、改めて小豆島について知るきっかけになりました。
観光チーム 1年 瀧澤 心	授業ではなかなか得られない学びが沢山あり、自身の成長に繋がる経験ができました。
観光チーム 1年 松本 朔希	マップ作成時に観光地の他、島民の交通や大学生の意見など多くの視点を取り入れられました。
そうめんチーム 2年 赤松 功多朗	そうめんを通してたくさんの人と関わることができたこの経験をこれからの生活に生かしていきたいです。
そうめんチーム 2年 高岡 風斗	この活動を通して島の課題に向き合い、思考できました。とても貴重な体験でした。
そうめんチーム 2年 鳥居 文嗣	参加はあまりできなかったのですが、経験を活かせる様にしたいです。
そうめんチーム 2年 出水 康太	結果こそ残せなかったけど皆で自主的に課題を見つけてそれに取り組める貴重な体験になりました。
そうめんチーム 2年 八木 壱太	ギネス記録を取る事を目標として、挫折しながらもいろんな事を経験できてよかったです。
そうめんチーム 2年 濱本 琉綺夜	しまみらの活動を通して全員で意見を出し合ったり、力仕事をしたり楽しく活動できました。
そうめんチーム 2年 清水 莉央	この活動でみんなが協力して活動する楽しさを知れました。
そうめんチーム 2年 藤本 旺汰	島の未来プロジェクトに参加して、そうめんから島について新しい面で考えられました。
そうめんチーム 1年 富田 健斗	この活動を通して島のこれからについて考えるキッカケになった。とても良い活動でした。
そうめんチーム 1年 中村 武雅	この活動に参加して島について再発見することをたくさん見つけ、良い経験になりました。
そうめんチーム 1年 鹿野 立也	しまみらの活動を通して島を盛り上げられるよう全体で協力して活動できました。
クリエイターチーム 1年 達見 百葉	しまみらのインスタを一から始めてかわいく投稿したので見てみてください〜♡♡
クリエイターチーム 1年 岡田 一華	しまみらの活動を通して、話したことのない人とたくさん話せてよかったです！
クリエイターチーム 1年 白木 奏	写真を撮るのが楽しかったです。

* * 2025年度 * *
メンバー募集!!

新しい発見してみませんか?
担任の先生まで連絡ください!



しまのみらいプロジェクト：活動趣旨

本活動は、教育、部活動に合わせて第3の価値として、高校生が主体となり、自ら考え、人・地域を巻き込みながら行動し、高校を卒業する前に小豆地域の魅力や地域とのつながりを大切にすることで、進学または就職後の進路に故郷である「小豆島」を選択肢として残してもらうきっかけになることを目的とする。



Shimamira Members



一般財団法人
三菱みらい育成財団

この冊子は三菱みらい育成財団の
助成により作成しています。

しまいろ

08号

香川県立小豆島中央高等学校

発行日：2025年3月
発行者：香川県立小豆島中央高等学校
しまのみらいプロジェクト
印刷・製本 マルシマ印刷株式会社

